

介護施設・事業所での「BCP策定義務化」 バックアップ取れていますか？

介護施設のBCP対策が2024年4月1日から義務化！

利用者は自然災害による停電で医療機器が止まると命の危険があります。
そのため、施設ごとに感染症・自然災害におけるBCP策定が義務化されました。



業務継続計画未策定減算

おこなっていない場合下記のとおり
介護報酬が減算されます。

1. 介護施設・居住系サービス：3%
2. その他の介護サービス：1%

※2025年3月までは経過措置です
感染症か自然災害どちらかでOK

参照：[令和6年度介護報酬改定の主な事項
について | 厚生労働省 老健局](#)

2023年度で猶予期間は終了しています。

未対応の介護事業者はすぐにBCPを策定しましょう。

【BCPとは】

自然災害やテロ、感染症流行、システム障害などの緊急時に
事業を継続、または速やかに復旧する計画・対策を立て、
平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための
方法、手段などを取り決めておく計画のことです。



初めてでもかんたん操作・マニュアルいらず
中小企業へオススメ【簡単なバックアップソフト】

ActivelimageTM-RE
PROTECTOR

ActiveImage Protector -RE ポイント

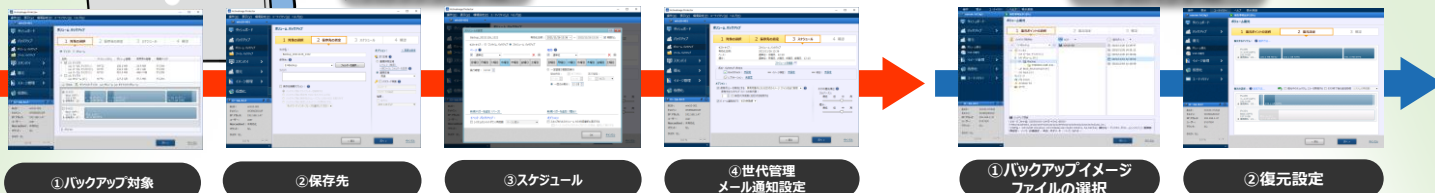


簡単な画面で直感的に操作可能

・バックアップとリストアどちらも少ないステップで簡単

バックアップ手順

リカバリ手順



購入する製品がわかりやすい

国産のバックアップソフト

物理マシン

仮想環境

Windows
Server OS

Windows
クライアント OS

Microsoft Hyper-V
VMware vSphere環境

Server

Desktop

Virtual

物理マシン 1台
¥145,100(税別)

物理マシン 1台
¥9,300(税別)

1ホスト(仮想マシン無制限)
¥217,800(税別)

・ActiveImage Protector -REでは実機はもちろん、
仮想マシンにも対応

・開発元も日本なのでサポートも充実
・マニュアルもすべて日本語

 ガイドラインにも対応！

【厚生労働省老健局 自然災害発生時の業務継続ガイドライン より】

(6)システムが停止した場合の対策

- ◆ 電力供給停止などによりサーバ等がダウンした場合の対策を記載する(手書きによる事務処理方法など)。
- ◆ 浸水リスクが想定される場合はサーバの設置場所を検討する。データ類の喪失に備えて、バックアップ等の方策を記載する。

- ・ PC、サーバ、重要書類などは、浸水のおそれのない場所に保管されているか(上階への保管、分散保管など)。
- ・ BCP そのものも重要書類として保管する必要がある。
- ・ PC、サーバのデータは、定期的にバックアップをとっているか。
- ・ いざという時に持ち出す重要書類は決まっているか など

自然災害発生時の業務継続ガイドライン P14, 厚生労働省老健局 令和6年3月 から引用

<https://www.activeimage-re.com/>

【お問い合わせはコチラ！】

株式会社ラネクシー ActiveImage -RE 担当宛

⇒aipre_sales@runexy.co.jp



Webミーティングも
お気軽にご相談ください！

